

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
栄養総合演習Ⅱ Synthetic SeminarⅡ of Nutrition and Dieticians		2年	通年	水曜日 5時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習	選択 (栄養士養成課程選択)		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
栄養学 食品学 栄養指導論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
栄養士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
穂積元 小柳津周 高木道代 森田悠子		福祉棟2階、3階研究室	担当教員の出勤日(特に指定なし)	授業中に指示します
授業の概要				
栄養士の資格取得を目指す学生として、食品、栄養、健康、調理に関する基礎知識及び専門領域を演習の形態で幅広く学ぶことが出来るように授業内容を多様な項目で構成し、資格取得意識や目的意識の向上を図る。さらに集団での課題や活動などにより、栄養士として必要なコミュニケーション対応力を備えることが出来るような授業内容に設定した。				
授業の到達目標				
①栄養士の資格取得を目指す学生として、幅広い基礎知識を修得できるようにする。 ②栄養士の資格取得を目指す学生として、栄養士の基本業務、意識を理解できるようにする。 ③栄養士の資格取得を目指す学生として、コミュニケーション対応力を修得できるようにする。				
授業の方法				
専任教員によるオムニバス。講義、グループ活動、その他				
学習の成果				
①栄養士の資格取得を目指す学生として、幅広い基礎知識を理解することができる。 ②栄養士の資格取得を目指す学生として、栄養士の基本業務、役割を認識し、コミュニケーションの重要性を理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	講義ガイダンス(単位評価法、学習方法) 担当 : 穂積元			
第2回目	これからの学生生活と就職活動の調整について 担当 : 穂積元			
第3回目	健康と食品及び栄養の関係について 担当 : 小柳津周			
第4回目	生活習慣病について考える(自身の食生活や生活習慣から) 担当 : 小柳津周			
第5回目	食遊かるた作成計画・テーマの検討、選定 担当 : 森田悠子			
第6回目	食遊かるた作成計画・担当箇所の決定、読み札案の作成(課題:提出日は第7回講義時) 担当 : 森田悠子			
第7回目	食遊かるた作成計画・絵札案の作成 担当 : 高木道代			
第8回目	食遊かるた作成計画・絵札案の作成(課題:提出日は第9回講義時) 担当 : 高木道代			
第9回目	目指す職種に必要なものを探すー自己分析からー(レポート課題:提出日は第10回講義時) 担当 : 穂積元			
第10回目	現在の栄養士における職場環境について 担当 : 穂積元			
第11回目	食品中の機能性成分と生活習慣病の関係(レポート課題、提出日は第12回講義時) 担当 : 小柳津周			
第12回目	食品及び加工食品の摂取状況が健康に及ぼす影響について 担当 : 小柳津周			

第13回目	みかも祭の実施計画、媒体作成(1) 担当 : 高木道代		
第14回目	みかも祭の実施計画、媒体作成(2) 担当 : 森田悠子		
第15回目	夏期休業の有効な過ごし方(就職活動の進め方、キャリアアップのために) 担当 : 森田悠子		
第16回目	食品を構成する成分の消化・吸収機構の役割(レポート課題、提出日は第17回講義時) 担当 : 小柳津周		
第17回目	高齢化及び健康寿命と食品・食生活の関連性 担当 : 小柳津周		
第18回目	ストレスコントロールについて 担当 : 穂積元		
第19回目	医療施設の組織と関連法規について 担当 : 穂積元		
第20回目	栄養士のキャリアアップ(1)自分の仕事をまとめる 担当 : 高木道代		
第21回目	栄養士のキャリアアップ(2)研究モデル 担当 : 高木道代		
第22回目	医療・保健・福祉・介護の栄養と食事サービスを考える 担当 : 森田悠子		
第23回目	進路について考える 担当 : 森田悠子		
第24回目	食品及び加工食品に対する栄養士の関わりについて 担当 : 小柳津周		
第25回目	機能性食品と健康・疾患対策について 担当 : 小柳津周		
第26回目	人間関係づくりトレーニング(1) 気づく「自分探し」 担当 : 高木道代		
第27回目	人間関係づくりトレーニング(2) 説得する「コンセンサスと人間関係づくり」 担当 : 高木道代		
第28回目	栄養士免許申請方法と必要書類について 担当 : 穂積元		
第29回目	栄養士・管理栄養士の社会における役割とその重要性 担当 : 森田悠子		
第30回目	卒業に向けてー社会人としての心構えー 担当 : 穂積元・小柳津周		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		20%	①講義の目的、内容を理解して参加する(S=90)②予習・復習を行い参加する(A=80)③意欲なく参加する場合は評価が低い
レポート		70%	①課題の目的、内容を理解し、原理や参考文献を用いてまとめる(S=90)②課題の目的、内容を理解し、疑問や質問など自身の考えをまとめる(A=80)③意欲のない場合は評価が低い
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験			
発表内容(態度含む)			
その他		10%	①共同で実施する課題に対し、献身的に参加する(S=90)②共同で実施する課題に対し、消極的な参加の場合には評価が低い
教科書と参考図書			
各講義担当者が作成した資料を配布して講義を行う。			
履修上の心得・ルール			
指導教員の指示・指導を厳守。講義の順番については変更の場合もある。提出レポート(資料等)については期限を厳守する。			